

当院における消化管出血患者に対する緊急内視鏡検査の現状（受付番号 2101 の研究の継続課題）

1. 研究の対象

2009年1月から2017年3月までの間に消化管出血を主訴に緊急内視鏡を施行された方

2. 研究目的・方法

本研究の目的は当院で施行した消化管出血患者の緊急内視鏡施行症例を対象に、その臨床的特徴を解析することです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテ番号、年齢、性別、既往歴、内服歴、検査時の患者の状態（自覚症状、意識レベル、バイタルサイン）、血液検査（赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、血清鉄、血清アルブミン、血清クレアチニン、血清尿素窒素、プロトロンビン時間）、出血部位、止血方法、検査後の消化管出血症状の有無、緊急内視鏡の時間（日中/夜間、平日/休日）、入院日数

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岡山県倉敷市松島577 川崎医科大学附属病院 電話 086-462-1111

研究責任者：食道・胃腸内科 医長 藤田 穰

5. 利益相反

本研究課題を実施する研究者が所属する教室は、アストラゼネカ(株)、杏林製薬(株)、ゼリア新薬工業(株)、アステラス製薬(株)、(株)ツムラ、武田薬品工業(株)、第一三共(株)、大塚製薬(株)、Japan Gut Club、エーザイ(株)、田辺三菱製薬(株)、味の素製薬(株)より、奨学寄付金の受け入れおよび分担研究者に第一三共(株)、アストラゼネカ(株)、エーザイ(株)、武田薬品工業(株)、アボットジャパン(株)からの報酬の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。なお、いずれの企業も、本研究課題には直接関係はない企業です。